



2026
議会だより

よしか

第76号

令和8年1月26日

見える議会へ、一歩先へ。



5つの新風、12の決意。

- ▶ 年頭のあいさつ・議会構成…………… 2
- ▶ 同意案件・選挙…………… 3
- ▶ 第4回定例会…………… 4～5
- ▶ 全員協議会…………… 6
- ▶ 議会への意見…………… 7～8
- ▶ 議案の議決結果…………… 9
- ▶ 一般質問…………… 10～12
- ▶ 一般質問・発議…………… 13
- ▶ 議員紹介・編集後記…………… 14

年頭のあいさつ

議長 河村 隆行



新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、ご健勝にて新しき年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

吉賀町は、昨年10月に議員選挙が行われ、新たに12人の議員が選ばれました。

この度の選挙は、78%の投票率で、3600人以上の投票があり、その中で実に45%、1600人以上の有権者から、5人の新人議員は選ばれ、負託を受けました。

このことは、約半数の有権者が、議会に変わることを求めている表れだと受け止めています。

安永前議長も常々、議会改革を語っておられました。私はその志を受け継ぐべく、議長の重責を務める決意をいたしました。

12人の選ばれた議員は、選挙時に表明した公約、選挙公報、ピラなどに対して、

町民の皆さんから選ばれ、負託を受けています。

これから12人全員で、全力で取り組んでいきます。

そして、住んでよかったと思えるような町になるように、皆さんと共に目指していくことが務めだと思っています。

皆さんも、どうぞ議員を見て下さい。そして、思いを伝えてください。一緒に良い町を目指しましょう。

令和八年 元旦

広報広聴常任委員会

委員長 山下 達也

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

この度、新人議員5名が加わった新体制の下、私が委員長の大役を担うこととなりました。

今後は「議会運営の見える化」を掲げ、読みやすく親しみやすい誌面づくりに注力するとともに、町民の皆様への生の声を議会へ届ける「広聴」活動も積極的に行ってまいります。

開かれた議会を目指し、委員一同全力で取り組んでまいります。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

吉賀町議会構成 令和7年11月4日構成

議長	河村 隆行						
副議長	村上 定陽						
委員会名	委員長	副委員長	委員				
議会運営(5人)	桑原三平	藤升正夫	村上定陽	山下達也	三浦浩明		
総務常任(8人)	藤升正夫	菊次弥生	村上定陽	澄川浩一	山下達也	庭田英明	
			池下弘幸	桑原三平			
経常任(7人)	三浦浩明	澄川浩一	村上定陽	新藤吉郎	山下達也	河村由美子	庭田英明
民生教育常任(7人)	桑原三平	池下弘幸	新藤吉郎	菊次弥生	藤升正夫	三浦浩明	河村由美子
広報広聴常任(7人)	山下達也	澄川浩一	村上定陽	新藤吉郎	菊次弥生	桑原三平	庭田英明
議会選出監査委員(1人)	藤升正夫						

同意案件

◇副町長の選任が全員賛成で同意されました



副町長

深川 仁志氏（新任）

（任期は、令和8年1月1日より4年間）

◇教育委員の選任が全員賛成で同意されました



教育委員

坂田 紀之氏（再任）

（任期は、令和7年11月12日より4年間）

教育委員

齋藤 義徳氏（再任）

（任期は、令和7年11月12日より4年間）

選挙

◇選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を行い、次の方が選出されました

【選挙管理委員】

田村 惇氏（再任） 下須

岡崎 等氏（再任） 六日市

赤松 満氏（再任） 大野原

山谷 徹尚氏（新任） 七日市

（任期は、令和7年12月21日より4年間）

【選挙管理委員補充員】

吉中 力氏（新任） 朝倉

水上 健二氏（新任） 樋口

坂下 千恵氏（再任） 柿木

石井由香利氏（新任） 下須

（任期は、令和7年12月21日より4年間）

第4回 定例会

〈令和7年12月8日～12月15日の8日間〉

一般会計補正予算(第6号) ▲1,699万1千円
補正後の一般会計予算総額 91億3,108万1千円

【増減額の主な理由】

航空レーザー測量(国による事業の不採択) ▲3,606万円
非常用発電機(庁舎維持管理費を一旦取り下げ再検討) ▲2,200万円
吉賀町職員の給与および手当の改正(人事院勧告による) 3,807万円

主な質疑と討論



◆ 町道唐人屋線落石対策工事
5,522万円

《説明：落石防止のため》

澄川 議員

落石防護柵の距離を延ばせないか。

【建設水道課長】

今年度施工区間が終われば、次の区間工事を行う予定である。

池下 議員

一度に落石した場合に耐えうる構造か。

【建設水道課長】

落石エネルギーの一番大きなもので設計し、今回この工法になった。



◆ 柳原団地外構工事
65万円

《説明：防草対策を真砂土からコンクリートに、またガスボンベの設置場所の変更。

当初予算4,950万円

→変更後5,015万円》

藤升 議員

町として、途中変更の無いよう、事前の協議またはルール作り等対策はあるか。

【税務住民課長】

ルール作りについては、今後検討していく。

【議案第80号】

吉賀町特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例について

《説明：吉賀町特別職報酬等審議会の答申を受け、『ただし、報酬及び給料の額を減額する場合は、審議会の意見を聴くことなく提出することができる。』を加えるもの。》

反対討論

藤升 議員

「ただし書き」を付け加えることは本来の報酬審議会の役割に反するものである。

一般会計補正予算(第7号) 1億4,860万8千円
 補正後の一般会計予算総額 92億7,968万9千円
 前年比 11.2%増

【増額の主な理由】

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	1億2,173万円
物価高対応子育て応援手当支給事業費補助金	1,400万円
老人福祉センター管理費	623万円
高津川てらす(建物)用途変更設計委託料	342万円

主な質疑と討論

◆老人福祉センター修繕費 623万円

《説明:はとの湯レジオネラ菌改修費用》

村上議員

恒久的な改修ではなく、急場的な対処であり、ポリタンクの耐久性を考えると毎回急場しのぎの改修が続くのか。

【企画課長】

ステンレス製、FRP樹脂製のものがあり、最適な材料を検討する。

澄川議員

レジオネラ菌は重症化したら死亡することもある。安心・安全な根本的な対策が必要では？

【企画課長】

保健所と協議過程である。レジオネラ菌の検出がないことを確認し、安心・安全を担保した上で再開する。

一般会計補正予算(第7号)に対し、修正動議提出

提出者:藤升 正夫議員

【内容】旧六日市学園施設「高津川てらす」の用途変更に伴う設計委託料342万1千円を、歳入・歳出ともに減額し、歳入・歳出ともに総額92億7,626万8千円とするもの。

◇賛成少数により、否決

一般会計補正予算(第7号)の原案に対する賛成討論

庭田議員

緊急を要する物価高騰対策の計上に加えて「高津川てらす」や「はとの湯荘」への計上は、「ゆ・ら・ら」も加え、町の財産であり交流人口増進の場である。町のイメージダウンにならないように対策を打っていかねばならないため。

◇全員賛成により、原案可決

第14回全員協議会

(12月2日)

◆ 「よしか病院」及び「よしか介護医療院」の現状について

菊次議員

Q 看護の質や職場の環境を整える対策は。

【医療対策課長】

A 研修や資格を取る等、看護の質を高め、なり手を探していく。

◆ 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について

子ども・子育て支援法に基づく新たな給付制度として、令和8年から全国で開始される事業

山下議員

Q 今までの一時保育との違いと、総合支援システムとは。

【保健福祉課主幹】

A 本制度は全国どこでも利用でき、子どもの育ちを応援する制度。
総合支援システムはパソコン・スマートフォンからログインして利用でき、他の市区町村でも利用可能。

◆ 役場組織機構について

新たな組織機構体制へ向け協議中のもの。

池下議員

Q 現在の役場職員の研修状況は。課が増えることはあるか。

【総務課長】

A 吉賀町職員研修計画というものがある。現段階では、課の数を増やすことは考えていない。

新藤議員

Q 朝礼などで、課長が進捗状況を把握する取り組みをしているのか。

【総務課長】

A 朝礼はやっていないが、課内会議などは行っている。

澄川議員

Q 組織構築は4年もかかるものなのか。

【町長】

A 組織機構は、20年前に吉賀町ができた時以来の大改定である。
じっくり構え、9年度から進めていく。

第15回全員協議会

(12月15日)

◆ 高津川てらす（旧六日市医療技術専門学校）について

令和7年11月一般社団法人高津川てらすから普通財産無償貸付契約の中途解約通知があり、高津川てらす（建物）の利活用が決定するまでの間、町直営で管理することとなり、用途変更に向けた設計委託料342万1千円が必要となったため。

菊次議員

Q 今後の明確な計画、実施日程、予算の確保は。

【企画課長】

A 6月の補正で予算計上し、必要な改修をする。費用は、交付金を確保していく。

山下議員

Q 今後、一般社団法人高津川てらすと官民連携で引き続き行うというが、その明確な契約内容は。

【企画課長】

A 一般社団法人高津川てらすが建物を管理するのは3月31日までで、4月以降は貸付契約で利用してもらう。

議会についてのご意見をお聞かせください

吉賀町議会では、議会活性化のため、具体的な取り組みを進めています。

つきましては、住民の皆様から議会についてのご意見や提言をお寄せいただきたいと思います。

ご住所やお名前を記入された方には、回答させていただきます。

なお、議会・町政に関しないものやひぼう中傷等には回答いたしませんので、ご了承下さい。

切り取り

折ってください

のりしろ

のりしろ

ご意見等ある方は、裏面にご記入の上、外枠にそって切り取り封書にして投函してください。

折ってください

料金受取人払

益田郵便局承認

527

差出有効期間
2026年2月
28日まで
〔切手不要〕

698-8790

吉賀町役場 議会事務局 行

吉賀町六日市七五〇



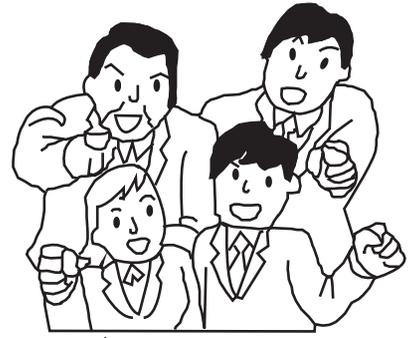
のりしろ

切り取り

折ってください

次のことにご注意いただき、ご意見等をお寄せください。

- ◇議会・町政以外のことについてのご意見等をご遠慮ください。
- ◇ご住所、お名前の記載がない場合は、回答はいたしません。
- ◇いただいたご意見等を、匿名で「議会だより」や町のホームページに掲載することがあります。
- ◇簡潔な内容をお願いします。



折ってください

切り取り

回答を希望される方はご住所、お名前を記入してください。

(個人情報保護により、記載されたご住所、お名前等は他の目的には使用しません。)

ご住所 〒

お名前

男・女 (歳代)

件名

Area for writing the response, consisting of multiple horizontal dashed lines.

ごみ入れ

折ってください

切り取り

『議決結果表』

【全員賛成で可決した議案】

(議長は、可否同数の場合を除き採決に加わらない)

	議案番号	件名
臨時 第5回 会	同意第4号	吉賀町監査委員の選任
第 4 回 定 例 会	議案第76号	請負契約の締結(令和7年度町道唐人屋線落石対策工事)
	議案第77号	請負契約の変更(令和7年度柳原団地外構工事)
	議案第78号	吉賀町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
	議案第79号	吉賀町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定
	議案第81号	吉賀町職員の給与に関する条例の一部改正
	議案第82号	吉賀町長等の給与等に関する条例の一部改正
	議案第83号	吉賀町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償支給条例の一部改正
	議案第84号	吉賀町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正
	議案第85号	吉賀町火入れに関する条例の一部改正
	議案第86号	吉賀町農業集落排水処理施設条例の一部改正
	議案第88号	令和7年度吉賀町下水道事業会計補正予算(第1号)
	議案第89号	令和7年度吉賀町病院事業会計補正予算(第2号)
	議案第90号	令和7年度吉賀町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
	議案第91号	令和7年度吉賀町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算(第2号)
	議案第92号	令和7年度吉賀町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)
	議案第93号	令和7年度吉賀町小水力発電事業特別会計補正予算(第2号)
議案第94号	令和7年度吉賀町一般会計補正予算(第6号)	
議案第95号	令和7年度吉賀町一般会計補正予算(第7号)	
同意第5号	吉賀町副町長の選任同意	

【賛成多数で可決した議案】

○：賛成 ●：反対

	議案番号	件名	村上	新藤	菊次	藤升	澄川	山下	三浦	池下	河村 (雷)	桑原	庭田
第4回 定例会	議案第80号	吉賀町特別職報酬等審議会条例の一部改正	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	●
	議案第87号	令和7年度吉賀町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○

【賛成少数で否決した議案】

○：賛成 ●：反対

	議案番号	件名	村上	新藤	菊次	藤升	澄川	山下	三浦	池下	河村 (雷)	桑原	庭田
第4回 定例会	議案第95号	一般会計補正予算(第7号)修正案	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●
	発議第6号	最低賃金引上げ分等への支援を求める意見書(案)	○	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●
	発議第7号	安心して利用できる介護保険制度と大幅な処遇改善を求める意見書(案)	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●

自主財源確保への認識と覚悟は



村上 定陽

質問

高津川でらすやエムテラス、温泉施設など町有施設については、現在の運営実績や収支状況、その評価を確認する必要があります。

まちの駅構想は構想段階にとどまり進捗が見えにくいと感じる。2030年国スポを見据えているのなら、逆算したスケジュールと明確な方向性が必要ではないか。加えて、エムテラス取得後の活用方針、温泉施設などの指定管理者問題への対応、公費を投じる以上、使用料収入や民間活力による持続的な町独自の財源確保の必要性について、町長の認識と覚悟を問う。

手法は持っていない

町長

『高津川でらす』はイベント開催や来訪者増により一定の成果を上げ、利用に係る収支は黒字を確保しているが、人件費などは別途公費で対応している。

『まちの駅』構想は関係者との合意形成を重視しており、現段階では具体的な工程表は示せない。

エムテラスは暫定的な貸付実績があり、今後は民間事業者との連携による活用を検討している。

温泉施設は早期再開と雇用への配慮を進め、対処していく考えである。財源は使用料収入、寄附、官民連携を軸に町全体の財政基盤強化で対応するが、独自の手法は持ち合わせていない。

行財政改革の進捗は



河村 由美子

質問

第5次財政健全化計画に

基づき、改革推進本部を中心に6つの委員会を主体とした吉賀町DX推進の計画に沿い、財政改革を進めている。

第2期吉賀町総合戦略、公共施設等総合管理計画との整合を図るとともに、「よしか病院」の運営や新病院建設事業をはじめとする行政課題の影響にも適切に対処し、自立し持続可能な財政運営をしなければならぬ。

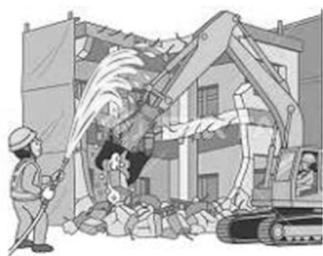
とりわけ、公共施設の整理統合等についてはこれまでも議会において度々指摘してきた。一步、二歩進んだ取り組みとなるよう務めると施政方針に明記してあるので、具体的事例と成果の説明を求め

課題山積である

町長

計画の中にある参画・協働、意識改革、経営基盤、この理念の下に社会情勢や、行財政運営の観点から組織機構の見直し・人事適正化、人材育成、将来の財政状況を的確に捉える。

また、ファシリティマネジメントを積極的に推進していかなければ、独自の財源のない中山間地の自治体は今後も厳しい環境下にあり



教育環境整備とサクラマラス支援



山下 達也

質問

児童の減少により、社会性や選択肢の狭まりを懸念し、学校統合を望む保護者の声がある。現在の学校体制維持が最善か。学校再編の議論をいつ進めるのか。

統合後の送迎や見守りを地域で支え合う仕組みは構築されているのか。

質問

サクラマラスプロジェクト第2段階として、サクラマラスが帰れるための「住まい」支援が不可欠である。

空き家のモデルルーム化やリフォーム補助拡充、町営住宅の社宅・お試し利用への転用など、受け皿整備を進め、Uターン者独自の助成制度を創設するべきである。

教育長

教育の公平性を最優先

先し、来年度策定の第3期教育振興計画の中で議論し、方針を明確化する。

支え合いの仕組みについては、コミュニティ・スクール(CS)を活用し構築したい。

住まい確保と定住促進

町長

官民連携で住宅確保や支援策研究

住まいの確保は、官民連携の場で意見交換したい。

町営住宅の柔軟な活用は法の範囲内で研究する。

Uターン支援等は施策の旗印として総合戦略の中で検討したい。

町の男女共同参画とは



菊次 弥生

質問

「男性も女性もあらゆる分野で活躍できる社会の実現」は、吉賀町がめざす「男女が共に担う地域づくり」において重要である。町の政策を決める場に女性が少ないという調査結果も出ている。

男女共同参画の現状と今後の取り組みについて問う。

えがお・しあわせ。生きやすさを目指す

町長

町の目指す男女共同参画社会に向けて、さまざまな年代・価値観や視点を持つ方が意思決定の場に参画してもらうことが必要であり、男

質問

先の町議会議員選挙にあたって、日本共産党は生活アンケートに取り組み、百通近い回答を得た。

この中で、「町や国などの政治に望むこと」に回答された方の7割が「救急を含む医療体制の確保」を選択されていた。

アンケートには夜間と休日の救急体制のどちらにも意見が寄せられており、お会いした方からも「日常の安心のため」にもよしか病院で24時間救急の対応ができないかと強く要望された。



藤升 正夫

先町の町議会議員選挙にあたって、日本共産党は生活アンケートに取り組み、百通近い回答を得た。

必要性を認識、実現に向け歩む

町長

救急医療は、急性の病気やケガ、心停止など生命の危機にある患者の命を救い、重症化を防ぐことなどが目的と考える。

よしか病院で夜間救急が実現できれば、住民の皆さんの更なる安心につながり、その必要性を含めて十分認識しているが、現実問題としては大変難しく、難しい状況である。実現に向け要望活動を続け、全国町村大会でも、地域保健医療対策の推進を項目立てし、医療従事者確保や救急を含めた自治体病院支援など要望している。

よしか病院の診療体制は



澄川 浩一

質問

よしか病院の夜間診療体制について、以前から夜間救急の復活を求め声が上がっている。

町として現在どのように導入を検討しているのか。

質問

また、医師・看護師の確保について、大学や医師会との連携強化や、地域枠・研修受け入れ、そして地元育成や復職支援など、今後どのように進めるのか。

よしか病院の夜間診療は、人員不足と大幅な赤字見込みから現状では実現が困難である。町は益田圏域との連携や県・国への要望を続けているが、具体的な夜間救急の計画は示せる

町長

よしか病院の夜間診療は、人員不足と大幅な赤字見込みから現状では実現が困難である。町は益田圏域との連携や県・国への要望を続けているが、具体的な夜間救急の計画は示せる

町道馬橋線の今後は

馬橋撤去後の沢田地区での具体的な交通確保策を問う。

要望していく

今後馬橋を含む改修を県に要望していく。

町道沢田線は、今年度舗装の打ち替え工事を予定している。



官民連携の推進を



庭田 英明

質問

少子高齢化などにより社会情勢は大きく変化して、行政だけの「まちづくり」は限界を迎えている。

官民が連携した、新しい手法の「まちづくり」が必要である。

連携は必要

町長

これからの「まちづくり」には、民間の経営力や専門性を生かしながら、行政がサポートして持続可能な経営モデルを確立することが必要である。成功には対話による合意形成が重要であると考える。

行政の姿勢は

質問

民間組織が行政との連携を提案している。どの

ように関わっていくつもりか。

しっかりと支援

町長

目標をしっかりと示して、制度や予算、庁内調整などの土台づくりを担っていく。

町民の声を

質問

新病院の建設や医療サービズなど、「よしか病院」の存続には町民との合意形成が重要である。

町民、病院、行政、有識者などで構成する新しい協議会を設置すべきである。

協議会で検討

町長

町地域医療協議会で、行財政規模に合った計画を立てて進めていく。

住民の要望による対応は



三浦 浩明

質問

地域住民の日常生活や業務上においても様々な課題や問題がある。

農業における問題は、農地や高齢化、担い手不足である。

物価高騰により食費・燃料・家賃など、住民の生活を圧迫していること。

また、通院や買い物への交通網整備等、これらの要望に対して町はしっかりとした住民対応が必要不可欠である。

町として、住民が抱える諸問題に対し、どのように対応しているか。

国や町独自の支援を進める

町長

農業については、研修制度の充実や農業機械、

施設導入への支援、営業開始時の経営安定のための助成制度など、若い世代が農業に参入しやすい環境づくりを進めている。

物価高騰については、

プレミアム商品券等の独自の取り組みを実施しているが、個人の節約などの対応には限界がある。

今回、国において重点支援地方交付税の拡充が示されており、町としても交付金を最大限活用して住民生活の負担軽減につなげる対策を進めていく。

地域交通については、ニーズに十分対応できていないが、病院で受診した後、買い物などをする際の移動手段として六日市循環線を構築している。

中学校部活動の民間委託は



新藤 吉郎

質問

国の方針により、2031年までに中学校の部活動を民間に全面委託するということになっている。

教育委員会としての構想があると思うが、吉賀町ではどのように委託していこうと考えているのか。

実状に合わせた形

教育長

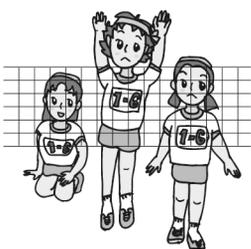
方向性として、町内で活動している部活動については、団体、クラブチームなどが受け皿になれるということを検討していき、土日の移行、その後平日の移行といった、段階的な取り組みを検討していきたいと考えている。

受け皿となり得る団体のない競技については、各学校での部活動

を継続しながら、指導者を派遣したり、合同で部活動を実施するなど、この町の実情に合わせた形を検討していきたい。

指導者については、吉賀町で指導を行うのに必要な指導の資格について、別途定める予定としている。

部活動の移行に関しては、生涯にわたってスポーツに親しむ心情を育むために、子どもたちの安心、安全を最優先事項として考えている。



第2期総合戦略の進捗は



池下 弘幸

質問

「まちづくり計画」は年間90億円余りの予算を投じて進めていくもので、役場、教育委員会、さらには社会福祉協議会をはじめ、あらゆる団体と全町民が一緒になって取り組むものである。

結果は町民に報告する。

質問

旧蔵木中学校施設の活用計画は

事前に準備しておかなければ、活用開始がまた遅れる。準備計画を示してほしい。

中心となるのが公民館であるが、現在、蔵木公民館は1名の主事だけが運営している状況である。教育長はどう考えるのか。

人員確保に努める

教育長

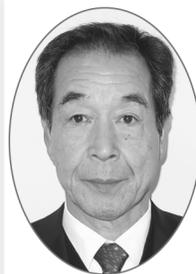
蔵木公民館の運営には、非常に責任を感じており、人員確保に努めている。

町長

「第2期吉賀町総合戦略」は単年度ごとの評価ができていない。PDCAでチェックし、早い段階で軌道修正する。

運営主体、方法など早い時期に会議を開催することを約束し、進めてゆく。

町の外交姿勢は



桑原 三平

質問

吉賀町誕生20周年の記念式典が10月1日挙行された。

町外から出席された40数名の来賓の方について、どのような基準で選考をしたのか。

町政にいろいろなことで携わってはいると思うが。

選考基準は設けていない

選考基準と違ったものはない。

町長

合併後、設けていない。合併後、1周年、10周年と記念式典を挙行してきたときの名簿を参考にした。名簿では、国、県、他の自治体、警察消防、名譽町民等の方々や、町に關係性のある方々を、追加や修正を行って、175名の方に招待状を送った。

質問

結果として、町内が71名、町外44名計115名だった。

国に対してアピール
国有林の所在

再質問
町内には3つのものがある。

その1つは国有林野である。関係する方を招待するのが外交ではないか。

配慮が足りなかった

町長

国有林野であれば森林管理署が所管の官公署だ。本当に、配慮が足りなかったと深く反省するところである。周年事業だけでなく、町の行事等において、しっかり配慮しながらご案内を差し上げる事が町としての外交姿勢だと思ふ。

第4回定例会で提出された発議

※議員が提出した議案

【発議第6号】

最低賃金引上げ分等への支援を求める意見書(案)

提出者 藤升 正夫
賛成者 村上 定陽

新藤 吉郎

「理由」訪問介護報酬の引き下げと、賃金格差の拡大など労働条件の悪化による人手不足により、介護事業所の昨年の倒産や休廃業件数が784件と過去最多であった。

この状態を改善し安心して利用できる介護保険制度とするため。

◇賛成少数により否決

【発議第7号】

安心して利用できる介護保険制度と大幅な処遇改善を求める意見書(案)

提出者 藤升 正夫

「理由」最低賃金引き上げは、雇用契約の解除、労働時間の短縮、設備投資の縮小などに繋がる可能性が指摘されている。社会保険料と賃金引き上げ分を直接支援し、使い勝手のよい助成金拡充により、経営と雇用を守り、地域経済を支えるため。

◇賛成少数により否決

議員紹介コーナー

議会構成が新たになって初めての議会日よりです。そこで今回は、

- ① 好きな言葉 ② 趣味 ③ もし生まれ変われるなら何になりたいかをインタビューしてみました。
各議員の意外な (!?) 一面とともにご覧ください。

1 村上 定陽



- ① 我以外皆我師
- ② 釣り、ラグビー
- ③ 村上定陽!

2 新藤 吉郎



- ① 百の努力の積み重ねは百一の力を生む
- ② 釣り
- ③ 考えたことがないが、やっぱり自分

3 菊次 弥生



- ① 勇猛果敢
- ② 適度に動く、旅
- ③ 画家・職人

4 藤升 正夫



- ① 平和
- ② なし
- ③ 人として生きたい

5 澄川 浩一



- ① 為せば成る
- ② ドライブ・ゴルフ
- ③ また自分

6 山下 達也



- ① できない理由より、できる方法を探す
- ② YouTube鑑賞
- ③ 今の家族に会いたいので、もう一度自分でしょうか

7 三浦 浩明



- ① 大義を成す
- ② なし
- ③ 富裕層

8 池下 弘幸



- ① 「初志貫徹」を抱いている
- ② 日曜大工
- ③ 今の自分。もう一度やり直してみたい

8 河村 由美子



- ① 「至誠」
- ② ガーデニング
- ③ 生まれ変わっても人間

10 桑原 三平



- ① 誠実
- ② アユ釣り
- ③ 医者

11 庭田 英明



- ① 知足
- ② 釣り
- ③ 向こうで暮らす

12 河村 隆行



- ① 生涯現役
- ② 農林業
- ③ わからない

編集後記

明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、皆様にとって穏やかな1年の始まりとなりましたことを心よりお喜び申し上げます。

本年、私は干支の巡り合わせで年男となり、さらに「丙午」の年でもあります。古くから丙午には強い気性や勢いのある年という言い伝えがあります。その力強さを前向きなエネルギーとして受け止め、町政の課題にしっかり向き合う1年にしたいと考えております。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

澄川 浩一